

ひまわりからの メッセージ

136号

2023. 2. 13

NPO ひまわりの花内
西濃圏域
発達障がい支援センター

発行人: 中野たみ子

挑むこと



田舎に住んでいると、本当に多くの生き物に出会います。朝早くからヤミズミする小鳥たち、屋根から見下ろす猿、窓にはリフク守宮(やもり)、庭土を盛り上げる土竜(もぐら)、蝶や虫たち、そして今度はいたちのようです。色々な生き物が訪ねてくれるのは嫌ではありませんが、夜中に屋根を歩く音や屋根裏でゴソゴソする音には、ちょっと困ります。子どもたちの行動同様、「そう来たか?」「まあ、想定内だよ」等と言っておられる方がいいのですが、五時間睡眠の妨害にはイヤヤか参っています。ところで先日、NHKBBSで「トランスジャパンアルフスレース」という番組を見ました。日本海側を出發して、八日間、北・中央・南の三つのアルフスを走破して静岡にゴールするという非常に過酷なレースです。予選を通過した三十名の男性が挑んでいます。

だが、途中で低体温症になる人、日焼けで太ももがたたれも歩き続ける人、足裏にたまった水ぶくれが痛々しい人など、何故この様なレースに挑むのかと思いつつ見守りました。そして、何故か遠き日の父のことは思い返していました。「お前は決して容易い道を歩くな。イージーゴーイングは駄目だ!」と、一人娘の私に対してよくまあそんな言まと思ったものでした。高校卒業と同時に自宅に住むことを許されなかった私が、泣き虫で弱虫だった自分を変えていったのは、そういう父の深い愛情のおかげだったと、今、思います。

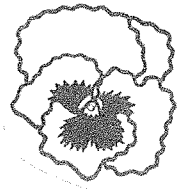
「今までの自分は何をしても中途で投げ出していた。だから、そんな自分を変えたい」と、レース参加の動機を語る人や、「自分には子供もなくこの世に何も残すものがないが、以前このレースを見て感動した。自分がこうして挑戦する姿から誰かが何かを感じ取ってくれたら嬉しい」と話す人もおられました。人は何かの機会に変われるのではないかと、レースに賭ける人たちは、それぞれに自分自身に何かを課して挑まれたのでしよう。

そろそろ私立高校や大学受験の結果がもたらされてくる時期です。おそらく不合格だった子もいるでしょう。けれども人生は長いのです。一度の失敗がその後の人生を決めるものではないはず。トランスジャパンアルフスレースの参加者の中には六十代の方もいらっしゃいました。人生は楽しいことばかりではありませんが何かに挑みつづけることの大切さを改めて学んだ気がしました。

まだまだやりたい事、やり残した事がたくさんありますよね。

引きつぎについて

お願いしたいこと



毎年、この季節になると引きつぎということばが聞こえて来ます。「発達障害者支援法」が制定され「途切れのない支援を」というキャッチフレーズのもとで始まったように記憶していますが、時々、何のための引きつぎなのだろうかかと考えさせられることもあります。

再度、引きつぎにあたるその問題点について考えてみたいと思います。

園から小学校へ……

まず大事なことは、園と小学校の生活は全く違うという認識が保育者にあるかどうかです。「一斉指示では理解できないので個別にもう一度話します。学校でもお願いします。」「トラブルがおきた時は担任がよく聞いてあげると気持ちがおさまります。」と言われて、よく、通常学級で可能でしょうか。園でできることが学校でも出来るわけはありません。合理的配慮というのは、要望に全て応えることではないのです。保育者は保育のフロのはずですから、保護者の方の要望について保育の立場からのしっかりした見解をもって下さ

ることが肝要です。

引きつぎのチェックリストについて

西濃圏域のどの市町でも、お子さんの実態についてチェックリストを使っておられることと思います。その区分は「生活」とか「こ」とか「幼児期の発達区分」に添ったものが多いと思います。しかし支援学級でも「自立活動」の区分が必要になってきますので六区分二十七項目を見直して、チェックリストも作り直してみて下さい。そうすることで小学校へどの項目の支援を継続していくといいのか、一つの目安になると思います。(巻末に福島県の特別支援教育センターの資料・ネット検索可能です)

引きつぎ内容について

- ① 興味をもっていること、得意なこと、強み
「好きなことは集中する。」↓これは集中ではありません!!
- ② 特性と考えられること ↓保護者の理解が大切なのです。
落ちつきのなさ、衝動行動、多動、協調運動や巧緻性
こだわり……何にこだわりのか、
- ③ 感覚に関すること
触覚、味覚、聴覚、嗅覚、視覚など過敏さ・鈍さ
- ④ 認知・理解に関すること
一斉指示に対する理解、遊びのルール理解
- ⑤ ことは、コミュニケーションについて(語い教・発音・会話など)

⑥ かんしゃく、トラブル、パニックについて

どんな時に起きるのか、どんな対応をしているか、
フルタイムのための工夫（別室対応は学校では難しいこ
とが多い）

保育園での支援員については、一対一の対応が必要な生活面
の支援が必要なお子さんもいますが、子どもが困った時に常に支
援員を頼むというよりは、かえって子どもの自立を妨げてしまいま
す。特に通常学級で学ぶお子さんの支援について、園内で十分
に話し合われることが大切です。担任よりも年高でベテランの方
だと親切すぎて手出しが多くなるように、子どもの気
づきを促すように心がけて下さると良いですね。

先程のチェックリストの見直しについては、大垣市では新形式
に移行してははるませんが、今だに旧式の用紙であったり、セッ
クリストにチェックできないことの記述が無かったり、セック
目と記述のくいちがいがあったりするといけませんから、コー
ディネーターの先生方の見直しもあるといいですね。

保護者のわが子理解の大切さ

園から勧められてもサポートブックは要らないと言う保
護者の方は別として、少くともサポートブックをもちたいと思
った保護者の方には、お子さんの子育てについて、協力してい
きたいと思つたのです。引きつぎの場合には少くとも小学

校六年間の見通しがもてると思います。療育機関
や医療機関でアドバイスを受け、子ども理解が進んでいる方
もあれば、教えてもらった専門用語を並べていらつやるだけだ
と思える方や、要望はおっしゃるものの理解されていないあと
思える方もあります。まずは、保護者理解が大切です。小学校
六年の間に学年が上がり担任が代わっていく時、必ずしも途切れ
なく支援が継続されるとは限りません。どんな時でも自分の子の
特性や困りに対する支援がどうあるべきか、実態把握が欠か
せません。よく話し合ってください。

小学校から中学校へ……

色々な小学校の担任の先生の引きつぎ内容もつかかっていると
一人一人のお子さんの理解度の差が垣間見えます。おそろく引
きつぎ会前に「必要がない」と担任の先生や保護者の方が判
断され、園から小学校へ引きついだ子のうち、勉強ができる、多
動がおちついた等の理由で取り下げられた例も多いと思います。
ただ、小学校から中学校への引きつぎの場合、やはり将来に向
けての視点は必要であらうと思います。

発達特性のある子の場合、小学校時代に上手く支援がなされ
ていると、困りは軽減されてきているでしょうが、特性が全く無くな
るわけではありません。ですから将来的にも有効な支援を引き
ついでいく必要があります。又、小学校時代に上手く支援がな

れなかった場合には認知の歪みが生じたり、二次障害として反抗挑戦性障害となることもあり、そうなることと教育の場だけでは解決が難しくなります。発達障がいの子を生徒指導で何とかしようとしても、かえってこじれてしまふこともあると思います。

引きつぎ内容としては、学習面、生活面、人間関係やコミュニケーションなどを重視して下さるといいでしょう。

学習面の困難さは自己肯定感の低下につながります。特にL1のお子さんについては、注意が必要だと思えます。読み書きの困難さに対して、また言語的推理の弱さは文章の意味理解の弱さにもつながりますから、ていねいな引きつぎが望まれます。

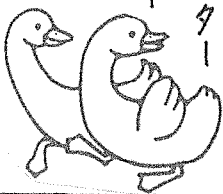
生活面に関しては、整理整頓や提出物の出し忘れ、指示を忘れるなど不注意症の子の困りについても有効な支援を引きついでいただけるといいでしょう。このことは当然スケジュール管理や就労支援にもつながっていくことですから保護者の理解も促していく内容かと思えます。

人との関係やコミュニケーションについては、ことばで表現することが苦手な子がふえているように思えます。自分の気持ちを上手く表現できないためにトラブルも多く発生してしまいます。家庭のルールがなく子どもの好きにさせて

いるために気持ちの切りかえが出来ない場合もあるかもしれません。また注目してもらいたくてわざと叱られるようなことをやってしまう場合もあるでしょう。先日の回転寿司店でのできごとやYouTubeなど、言ってみれば注目を求めている要求が強く、善悪の判断もできなくなったということでしょう。気持ちのコントロールは、三歳の第一反抗期にどのような育ってきたのかという点も大きいと思いますが第二反抗期ではもっと厄介ですね。私たちはその時の本人の気持ちに寄り添いながらも、きちんとどうすべきか知らせていく必要があります。自分で自分の気持ちに折り合いがつけられないと、社会で自立していくのは難しいでしょうから、家庭との連携は不可欠です。引きつぎの場でも、学校との連携について具体的に話し合ってもらえるといいと思います。何をしても「子どものことだから」と済まされない年令になることを保護者の方も子ども自身も分かっているといかないでしょうか……。

お知らせ

- ・センター親の会 3月13日 スイトピアセンター
- ・ひきこもり家族会 3月18日ソフトピアセンター
- ・ピアサポート 3月22日 ソフトピアセンター



*1枚目の注意事項が大切です。

自立活動の指導のための早見表 (例示)

	気になる行動 (例)	関連項目	指導の内容 (例)		気になる行動 (例)	関連項目	指導の内容 (例)
健康の保持	<input type="checkbox"/> 昼夜逆転生活・睡眠の欠乏または過眠。 <input type="checkbox"/> 偏食、少食・過食がある。 <input type="checkbox"/> 常に長袖または半袖。 <input type="checkbox"/> 不潔な状態 (爪、歯、体、髪の毛等)。	生活のリズムや生活習慣の形成	<input type="checkbox"/> 規則正しい生活・睡眠のリズム <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> 衣服の調節 <input type="checkbox"/> 清潔	環境の把握	<input type="checkbox"/> 視力が悪いのに眼鏡をかけない。 <input type="checkbox"/> 支援機器 (補聴器等) の管理ができない。 <input type="checkbox"/> ICT等の活用 に慣れ。	感覚の補助代行及び代行手段の活用に関すること	<input type="checkbox"/> 感覚の補助・代行グッズの活用 <input type="checkbox"/> 操作方法の習得
	<input type="checkbox"/> 自分の病気の理解が難しい。 <input type="checkbox"/> ストレスの要因の理解、対応が難しい。 <input type="checkbox"/> 服薬している薬の理解と管理が難しい。	病気の状態の理解と生活管理	<input type="checkbox"/> 自分の病気の理解 <input type="checkbox"/> ストレスへの対応や発散方法 <input type="checkbox"/> 体調管理		<input type="checkbox"/> 複雑なルールがある活動が苦手。 <input type="checkbox"/> 場面や状況から、やるべきことを見出すことが難しい (整理整頓、掃除等も)。 <input type="checkbox"/> 情報をまとめて判断するのが苦手。	感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握と状況に応じた行動	<input type="checkbox"/> 情報を収集していく力 <input type="checkbox"/> 場面や状況を把握していく力 <input type="checkbox"/> 的確な判断や行動
	<input type="checkbox"/> 怪我の痛みが分からない時がある。 <input type="checkbox"/> 自分の身体に関心がない。	身体各部の状態の理解と養護	<input type="checkbox"/> 身体各部の状態の理解 <input type="checkbox"/> 患部の保護 ○身体を養護する力		<input type="checkbox"/> 抽象的概念の理解が難しい。 <input type="checkbox"/> 口頭指示が通りにくく、具体物がないと理解が難しい。 <input type="checkbox"/> 場面に合わない突拍子もない行動をとる。	認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること	<input type="checkbox"/> 概念の形成 (ものの機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等)
	<input type="checkbox"/> 失敗から、自分を否定的に捉えてしまう。 <input type="checkbox"/> 大きな音がすると不安定になる。 <input type="checkbox"/> 体力がない。 <input type="checkbox"/> 暴飲暴食、偏食、食生活に課題がある。 <input type="checkbox"/> 運動量が少ない。	障がいの特性の理解と生活環境調整 健康状態の維持・改善	<input type="checkbox"/> 自己の障がいの理解 <input type="checkbox"/> 自ら生活環境を整える力 <input type="checkbox"/> 体力向上の基礎知識 <input type="checkbox"/> 肥満予防・改善 <input type="checkbox"/> 適切な運動方法・運動量の確保		<input type="checkbox"/> 常に、体が動く。椅子に座れない。 <input type="checkbox"/> 起立の姿勢維持が難しい。 <input type="checkbox"/> 運動が苦手 (走る、投げる、取る等)。 <input type="checkbox"/> 身体に麻痺がある。	姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること	<input type="checkbox"/> 姿勢保持 <input type="checkbox"/> 姿勢保持のための環境づくり <input type="checkbox"/> 運動 <input type="checkbox"/> 関節の拘縮や変形の予防
心理的な安定	<input type="checkbox"/> 常に、イライラ、落ち着きがない。 <input type="checkbox"/> 状況が変化すると不安になる。 <input type="checkbox"/> 集団行動が苦手、参加できない。	情緒の安定に関すること	<input type="checkbox"/> 不安要因の解明と適切な対応 <input type="checkbox"/> 興奮要因の解明と適切な対応	身体の動き	<input type="checkbox"/> 必要な補助用具の活用 に慣れ。	姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用	<input type="checkbox"/> 補助用具の適切な選定
	<input type="checkbox"/> 場面や状況の理解が難しい。 <input type="checkbox"/> 急な予定やルール変更の受け入れが難しい。 <input type="checkbox"/> 順番や勝敗、やり方で、パニックになる。	状況の理解と変化への対応に関すること	<input type="checkbox"/> 場面・状況の理解 <input type="checkbox"/> 場面・状況変化への適切な対応		<input type="checkbox"/> 靴ひも結び、ボタン等ができない。 <input type="checkbox"/> はさみ、カッター、定規、分度器、消しゴム等の扱いが不器用。	日常生活に必要な基本動作に関すること	<input type="checkbox"/> 身辺処理を身に付ける <input type="checkbox"/> 学習用具の扱い方 <input type="checkbox"/> 不器用さを改善する用具の扱い方
	<input type="checkbox"/> 興味・関心の偏り。 <input type="checkbox"/> 「どうせ、、、」が口癖。 <input type="checkbox"/> 夢中になることが少ない。	改善・克服する意欲に関すること *一部略	<input type="checkbox"/> 障がいの状態の理解と受容 <input type="checkbox"/> 障がいの改善・克服の意欲向上 <input type="checkbox"/> 生きがい探し		<input type="checkbox"/> 身体的機能上の課題により、一人で移動することができない。	身体の移動能力に関すること	<input type="checkbox"/> 移動能力の向上
人間関係の形成	<input type="checkbox"/> 教師や友達に不信感がある態度。 <input type="checkbox"/> 他者に関心がない。共同での活動が難しい。 <input type="checkbox"/> 双方向の会話、やりとりが苦手。	他者とのかかわりの基礎に関すること	<input type="checkbox"/> 人に対する信頼感 <input type="checkbox"/> 他者の存在の気づき <input type="checkbox"/> 他者とのやりとり (受容と対応)	コミュニケーション	<input type="checkbox"/> 作業活動に取り組むことが苦手。 (制作、調理等での手先を使った活動) <input type="checkbox"/> すぐに飽きる。	作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること	<input type="checkbox"/> 巧緻性の向上 (目と手の協応、正確さ、速さ) <input type="checkbox"/> 持続力の向上
	<input type="checkbox"/> 教師や友達の言葉の意味や感情の理解が難しい (冗談やことわざも)。 <input type="checkbox"/> 表情や声の調子から相手の感情を理解するのが難しい。	他者の意図や感情に関すること	<input type="checkbox"/> 他者の意図や感情の理解 <input type="checkbox"/> 言葉 (ことわざ、冗談等) の理解 <input type="checkbox"/> 身振りや表現の理解		<input type="checkbox"/> 人に伝えようとする意識が少ない。 <input type="checkbox"/> 教師や友達に、あまり関心がない。 <input type="checkbox"/> 身振り等の意味の理解や活用が難しい。	コミュニケーションの基礎的能力に関すること	<input type="checkbox"/> 伝えたい気持ちの育成 <input type="checkbox"/> 伝えたい内容の拡充 <input type="checkbox"/> 伝えるための手段の拡充
	<input type="checkbox"/> 何度と同じ注意を受ける。 <input type="checkbox"/> 衝動的な行動が抑えられない。 <input type="checkbox"/> 気持ちが急いで、失敗することある。	自己の理解と行動の調整に関すること	<input type="checkbox"/> 自分の得意、不得意なこと理解 <input type="checkbox"/> 自己理解から、行動を調整していく <input type="checkbox"/> 集団行動の中で状況に応じた行動		<input type="checkbox"/> 会話での語彙が少ない。 <input type="checkbox"/> 相手の話を受け入れることが難しい。 <input type="checkbox"/> 考えを整理して話すのが難しい。	言語の受容と表出に関すること	<input type="checkbox"/> 話し言葉や各種の文字・記号等を用いて伝える <input type="checkbox"/> 相手の意図を受け止め、自分の考えを伝える
	<input type="checkbox"/> 場面や状況に応じた行動が難しい。 <input type="checkbox"/> ルールや決まりを守ることが難しい。 <input type="checkbox"/> 集団活動に参加することが苦手。	集団への参加の基礎に関すること	<input type="checkbox"/> 場の空気を状況から知る力 <input type="checkbox"/> 集団参加の手順や決まり <input type="checkbox"/> 集団活動へ積極的参加		<input type="checkbox"/> 生活上使う言葉や語彙の理解不足 (物の名前、形容表現、抽象表現)。 <input type="checkbox"/> 文章の読解力が乏しい。 <input type="checkbox"/> 助詞等の理解不足。	言語の形成と活用に関すること	<input type="checkbox"/> 概念の形成 <input type="checkbox"/> 文法の理解
環境の把握	<input type="checkbox"/> 物を見る時、顔や見る物をかたむける。 <input type="checkbox"/> 聞く力が弱い。 <input type="checkbox"/> 記憶力が弱い。	保有する感覚の活用に関すること	<input type="checkbox"/> 視覚、聴覚、触覚などの使える感覚を最大限に活用する力	ICT	<input type="checkbox"/> ICT、文字ボード等を活用したコミュニケーション手段に慣れ。	コミュニケーション手段の選択と活用に関すること	<input type="checkbox"/> コンピュータ等の電子機器の選択活用
	<input type="checkbox"/> 書字、音読、図形等が苦手。 <input type="checkbox"/> 指示を聞いて、自ら考え、判断して行動することが難しい。 <input type="checkbox"/> 音や感触などの過敏からパニックになる。	感覚や認知の特性についての対応に関すること	<input type="checkbox"/> 感覚情報の適切な処理・対応 <input type="checkbox"/> 聞いたこと、見たこと、考えたことを記憶、判断、決定等の行動化 <input type="checkbox"/> 過敏要因に対する対応		<input type="checkbox"/> 話に割り込む、場違いな質問をする。 <input type="checkbox"/> 字義通りに受け取る。 <input type="checkbox"/> 場面や状況にあったやりとりが苦手 (話し方、メモを取る、うなづく)。	状況に応じたコミュニケーションに関すること	<input type="checkbox"/> 場面や状況に応じたコミュニケーションスキル (聞き方・メモの取り方・質問の仕方・報告の仕方・話し方等)